

【開催レポート】「がん治療を支える食生活研究所」が初イベント開催 「がんの治療・再発予防と食研究の最新update2024」開催（9/23）

～がん治療における最新のエビデンスとがん患者さんの食生活がテーマ がん治療の医療専門職120名が参加～

食品のサブスクリプションサービスを提供するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平）が展開する「がん治療を支える食生活研究所」は、2024年9月23日（月）に、初めてのイベントとして「がんの治療・再発予防と食研究の最新update2024」を開催しました。当社では2024年5月より、がんの治療をされている方と家族の食事サポートを目的とした「がん患者さんをつくったヘルスケアOisix」の販売を開始。同時に「がん治療を支える食生活研究所」を創設することで、臨床研究や治療と食生活とのエビデンスの発信などにも取り組んでいます。



■「がんの治療・再発予防と食研究の最新update2024」開催の狙いと当日の様子

医療の進歩と共に、がんは普段の生活を送りながら長い年月つきあって治療していく病気となりました。その一方で、がん治療や再発予防につながる最適な食事についてのエビデンスは少なく明確な指針を示せていない現状があり、「これで本当に良いのだろうか」という漠然とした不安とともにがんと長くつきあわなくてはいけない課題が生まれています。

本イベントでは、東京大学 大学院医学系研究科 社会予防疫学分野名誉教授 佐々木敏先生と岐阜大学医学系研究科 疫学・予防医学分野 大野富美先生に、がん治療における最新のエビデンスとがん患者さんの食生活をテーマに講演いただくことで、がんの治療・再発予防を支える食事について、現在どこまでわかっていて、何がわかっていないのかを明らかにしました。イベントには、がん治療に関わる医療専門職の方がオンライン視聴も含めて120名参加。「確かな根拠に基づいて説明することと、伝え方に注意する必要があると感じた。一方で、がんに100%良いものはないということが、一縷の望みを食事にもっている患者さんを失望させないように気をつけなければならないと思った。」「食事支援をするようになって『食べられるもの』と『栄養があるもの』『食べられないもの』は人によって様々であると感じ、多くの人に受け入れられやすい食材やメニューについての壁を感じていた。」等の感想が寄せられるなど、最新のエビデンスについての学びを得る会となりました。

<イベント概要>

- 開催日：2024年9月23日（月）10:00～13:30
- 開催場所：オイシックス・ラ・大地株式会社 本社
- 参加者：がん治療に携わる医療専門職120名（会場参加20名/オンライン視聴100名）
- URL：<https://foodlab.oisixradaichi.co.jp/posts/update2024>
- 当日コンテンツ：
 - 1.「がん再発予防における食研究の最新エビデンス」
佐々木敏先生（東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 名誉教授）
 - 2.「疫学的視点で見るがん患者さんの食と生活」
大野富美先生（岐阜大学医学系研究科 疫学・予防医学分野 研究員）
 - 3.交流会

本レポートに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：有賀
TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

■イベント概要

講演1.「がん再発予防における食研究の最新エビデンス」

佐々木敏先生（東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 名誉教授）

がんを経験された方の生存率を上げたりがんの再発率を下げたりする食事は「様々な食材による栄養の過不足ない充足」と言える一方で、特定の食材や特定の栄養素が特に役立つという証拠はまだないこと、また、日本人のデータは乏しく、海外での研究が中心となっている現在のエビデンスをそのまま日本人に当てはめるのはむずかしいことなどが紹介されました。さらに、研究を基に作られるガイドラインはあくまでも平均値であり、この基準を基に個人毎に適切な食事をとれるように医療専門職や企業がサポートすることが大事であるというお話をいただきました。

講演2.「疫学的視点で見るがん患者さんの食と生活」

大野富美先生（岐阜大学医学系研究科 疫学・予防医学分野 研究員）

様々な研究から垣間見えるがん患者さんの生活について紹介。食事調査の結果から、がん患者さんの食事にも罹患していない人と同様に改善できる点が多いこと、推奨されるような食事の摂取には様々なハードルがあり、それを取り除くサポートが必要だというお話をいただきました。

交流会

講演のあとは、「がんになる前と同じかそれ以上に食事を楽しめる」をコンセプトに考案されたがん患者さん向けの食事を囲み、治療中の食事について活発な意見交換が行われました。



■オイシックス・ラ・大地が取り組む、がん治療を支える食支援とは

当社は2000年の創業以来、産地とお客様をつなぎながら食の社会課題をビジネスの手法で解決すべく様々な取り組みを行ってきました。お客様へ定期的なヒアリングを行うなかで、がん患者さんが抱える食生活の不安についてお客様から多くのお声をいただくようになったことを受け、2024年5月14日に、臨床研究や治療と食生活とのエビデンスの発信などに取り組むため「がん治療を支える食生活研究所」を創設。また同日に、がんの治療をされている方と家族の食事サポートを目的とした日本初のがん患者さん向けの食事支援サービス「がん患者さんをつくった ヘルスケアOisix」の販売を開始しました。

「がん患者さんをつくった ヘルスケアOisix」では、『安心・安全な食材宅配』『医学的な知見を参考』『がん患者さんの生活に寄り添う』をコンセプトにしたミールキット「ヘルスケアKit Oisix」を展開。国内外のガイドラインや基準を参考に独自の要件を設定した4つのシリーズ（「バランスKit」「塩分3g以下Kit」「1日分の野菜Kit」「高たんぱく質Kit」）を提供しています。また2024年6月からは、「体調や都合に合わせて保存の効く商品が欲しい」というお客様からのお声に応じて、「ヘルスケアKit Oisix（冷凍）」も販売しており、今後も今後もお客様のニーズを汲み、よりよい商品づくりに努めてまいります。

がん患者さんをつくった
ヘルスケア **Oisix**

医師
監修



◀ヘルスケアKit Oisix パッケージ

オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、事業所、学校、病院などの給食事業を展開する「シダックス」、買い物難民向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」（持続可能型小売業）としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

本レポートに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：有賀

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp